

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【上小小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 基礎学力の定着。 国語「書くこと」算数「数と計算」 <指導上の課題> 教員側のICT活用能力の個人差がある。学習場面に合ったICT機器の活用個人差がある。	⇒ 朝学習「基礎学習の時間」を活用して、国語の書きと計算の基礎問題に取り組む。【通年】 ICT機器の有効活用を行い、算数の「数と計算」に関する資料提示をわかりやすいものへと改善する。【週に1度】 国語の授業において、文章を書く時間の確保を積極的に行い、書く力を高める授業を推進する。【週に1度】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 授業中の「個で考える時間」の確保。 算数「データの活用」 <指導上の課題> 個人差が大きい。個に応じた指導を充実させていく必要がある。児童主体の学習活動の機会が十分に確保されていない。	⇒ 1人1台端末を有効活用し、ドリルパーク等で、一人ひとりの課題に合った学習が進められるようにする。【通年】 ICT機器の有効活用を行い、算数の「データの活用」に関わる授業をわかりやすい内容になるように工夫する。【学期に1度】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現	中間評価(9月) 目標・策の見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)